

## 優秀賞

叶えたいのなら。

富良野市立麓郷中学校3年

すずき りお  
鈴木 梨央



勝ちたい。あの子に負けたくない。もう、あんな悔しい思いはしたくない。そう、強く思って走った。けど、負けた。リザルトを見て、泣いた。どうして、どうして負けるの？何がダメだったの？練習もちゃんとやったし、レース中の失敗だってなかった。あの子より私の方が技術もある。なのに、どうして。どれだけ強く思ったって無駄なんだ。叶わないなら、もう全部辞めたい。

クロスカントリースキー。それが私のやっているスポーツだ。雪の大地のコースを走り、タイムを競う。時にはマイナス20度の中走ることもあれば、猛吹雪の中走ることもある。

正直言って、私はクロカンが嫌いだ。走っている最中はすごく苦しいし、どれだけ勝ちたいと必死になっても、結果が出ない。何よりも一番の理由は、私よりクロカンにかける思いが弱いのに、成績がいい子がいること。そう思っていた。

「気持ちの強さは関係ないだろ。勝負を決めるのは、戦力、戦術、後は運だ。気合いでどうこうするのは実力が相当近い時だけ。もし気持ちの強さで勝負が決まるってんなら、じゃあ、負けた方の気持ちはショボかったのかって話になるだろう。」

これは、とある少年漫画の登場人物の名言だ。このセリフを聞いた時、私はハッとした。クロカンの成績が伸びないのは、私の調子が悪いから。本当はあの子に勝てる実力を持っていると。ずっとそう思い、高を括っていたんだと。そして、私の気持ちは無駄じゃなかったんだと気づいた。

実力があるから勝つ。勝負に気持ちの強さは関係ない。知識、技術、体力。クロカンは、誰よりもタイムが早い人が勝つ。そういう競技だ。気持ちが強くても、知識がなければ、体に負荷がかかるだけだし、技術がなければ、よく滑る板も作れない。体力がなければ、急に体が動くようになるなんてこともない。気持ちだけで何かを変えられる。そんなのはアニメや漫画の世界だけだ。それに気づいてか

らというもの、私は以前より、かなり練習に集中するようになった。今の自分には何が足りていなくて、何を改善すればいいのか、よく考えるようになった。昨シーズン最後の大会となったジュニアオリンピックでは、いい順位とは言い難いが、それまでと比べればかなり納得できる成績を取ることができた。

気持ちの強さが無駄だったのかといえば、そうではない。決して無駄ではなく、とても重要なものだ。本人が望んでいなければ、変わることも、強くなることもできない。「どうせ今回も負けるんだ。」と考えていては、勝つことは絶対にできない。向上心があるから人は成長できるのだと思う。

スポーツに限らず、誰かが何かを成し遂げるその原点には、「やりたい。」「知りたい。」「見てみたい。」などの強い気持ちがあると思う。しかし、気持ちだけある状態では何もできないのだ。その気持ちに伴った行動が必要になる。時間、質、量、求められることは多く、容易なことではないが、ただ望んで、憧れだけで終わりにたくないのなら、努力をするしかない。でなければ、その気持ちは所詮その程度だったということになってしまう。

「叶えたい。」は無駄じゃない。けど、まだ足りない。気持ちだけで結果は決まらないから、努力しよう。あなたが「叶えたい。」のなら。